

社団法人 埼玉私保連



広報

No.114

H24. 7. 31

発行



「先生 おはなししてー」
「はい わかりました」

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

関東ブロック『子ども・子育て新システム』を考える1000人研修会

日時：2012年5月21日

会場：埼玉会館 大ホール

共催：埼玉県私立保育園連盟、さいたま市私立保育園協会、埼玉県保育問題協議会、栃木県保育三団体、横浜市私立保育園連盟、群馬県民間保育園協議会、九州保育三団体協議会、山口県保育協会、島根県保育協議会、岡山県保育協議会、北海道保育三団体

このたび子育てに対してトータルな改変を企図する法案が提出されましたが、その目的は保育に市場経済の競争原理を持ち込み、効率化を図ろうとすることに主眼があると言うほかありません。ワークライフバランスと言うひびきのよい美辞の裏には、より安く、より安価な労働力を必要とする、新自由主義経済システムの本音が聞こえて来ます。市場原理に委ねられた保育では何でもありとなり、



子どもの最善の利益を保護することなく、こま切れで不規則な保育時間、子どもの生理や心理にストレスをかけることも辞さない貧しい子育て環境が現出します。すべての子どもが等しく権利を守られ、よい環境を与えられ、貧困や悪い環境から守られることが、新システムにおいても、見えるように高らかに謳いあげられ宣言されるべきであり、児童の権利を保障するところから出発し、それを目的とする真の子育て「新システム」が必要であると考えます。

そこで今回、われわれは、「新システム」の見直しを求めるため、「新システム」に対する問題点を解釈するシンポジウム及び研修会を開催しました。保育園関係者の多数のご参加により、1000人規模の研修会となりました。

第1部 シンポジウム

テーマ

「子どもの権利から見た新システム法案の急所」

コーディネータ：日本保育学会評議員・帝京大学教育学部教授 村山祐一先生

シンポジスト：日本弁護士連合会 貧困問題対策本部委員・女性と子どもの貧困部会所属 大井琢先生



第2部 研修会

ご来賓: 参議院副議長 尾辻秀久様
 自由民主党参議院議員 林芳正様
 日本共産党参議院議員 田村智子様
 社会民主党埼玉県議会議員 佐藤征二郎様
 九州保育三団体協議会会長
 「保育を守る全国連合会」会長 佐藤成巳様
 北海道保育三団体代表
 日本保育協会北海道支部長 宮崎啓様



第1部のシンポジウムでは村山先生及び大井先生より、①日弁連の新システム法案意見書のコンセプト、②市町村の保育の実施義務はどうなるのか、③保育を受けるためのハードル、④保育を受けやすくなるのか、⑤保育にかかる税金が子どものために使われるか、⑥指定制の規制がかかるから安心なのか、⑦保育に関する基準は維持向上するのか、法案の制度的、法的リスクについて分かりやすく説明されました。第2部では、政治関係及び保育所関係の多数のご来賓を迎え、頂いた挨拶では新システムに対する疑問点、問題点が提起されるとともに、新システム法案廃止に向けがんばろうという励ましの言葉をいただきました。そして意見発表の後、下記決議文が採択されました。

「子ども・子育て新システム」を考える1000人研修会 決議文

2012年5月21日(月)、私たちは、今政府が実施しようとしている「子ども・子育て新システム」に反対し、これを阻止しようとして埼玉県さいたま市に集結しました。

提出された法案は、保育に市場経済の競争原理を持ち込み、効率化を図ろうとしています。利益を追求する企業が保育になじまないことは多くの識者が指摘・強調していることでもあります。

(中文略)

しかるに、「子ども・子育て新システム」で見えてくるものは、保育所探しに戦々恐々とする保護者の姿、施設運営に戦々恐々とする施設運営者の姿、その狭間で振り回される子どもたちの姿、それを腕組みをして眺めている行政の姿であります。

このような「子ども・子育て新システム」を私たちは断じて容認することはできません。子どもたちの健やかな成長を守るために、私たちは「子ども・子育て新システム」に断固反対することをここに決議します。

また、研修会后、参加した方から一通の励ましのお手紙をいただきました。このようなお手紙は、ご参加いただいた皆様へ、研修会の趣旨がしっかり伝わったことに嬉しさを感じるばかりか、我々の今後の活動の励みともなりますので、一部紹介させていただきます。

(「子ども・子育て新システム」は)子育て、少子化における対策になり得ないこと。行政のデスクワークプランが現場実態の要望や実情に則してないこと。受益者のニーズや要望、要求にいかに応えるものか、など本場の意味での子育てプラン、少子化対応の打開策であり得るかなど、子どもを預ける側、保育を行う側の立場で考えると本当に大変なことであると考えさせられました。

行政が都合のいい方に顔を向けて改正法案をふりかざしているのかと私なりに感じ思ったしだい。また、私たちの暮らしの中でこのような切実な問題が浮上していることを改めて認識した次第です。

この意義深い研修会に参加させていただき、本当に感謝申し上げます。

埼玉県私立保育園連盟 第38回 定期総会

2012年5月15日(火)、埼玉会館7A会議室において埼玉県私立保育園連盟第38回定期総会が開催されました。総会では開会の辞の後、森田会長及びご来賓挨拶があり、議長・書記等が任命されました。事務局長より加盟206園中、出席63園、委任状102園で過半数を超えたため総会成立が宣言され議案に入りました。

第1号議案 2011年度活動報告

森田会長より、保育4団体が連帯する新システム反対の運動及び今後の地方分権化に向けた国、県や市町村との交渉方法の変化についての説明、並びに公益社団法人か一般社団法人のどちらを選択するか、定款や会計の変更等を踏まえて決定したいとの報告がありました。次いで、予対部、研修部、広報部、組織部、調査部、青年会議及び事業部の各部長から2011年度の活動報告が行われ、異議なく承認されました。



第2号議案 2011年度決算報告、第3号議案 2011年度監査報告

村山財務部長から埼玉県私保連の2011年度決算報告では、財務諸表の説明及び特定預金1,890,000円を取り崩し、予対関係費として支出し意見広告を掲載したとの報告がありました。その後、福島監事から監査報告がなされ、一部語句修正の上、承認されました。

第4号議案 2012年度活動計画

森田会長より2012年度活動計画として、特に「子ども・子育て新システム」に対する反対意見が表明され、埼玉私保連として行政及び全私保連との緊張関係を保ち、よりよい保育に向けて活動して行くとの報告がありました。次いで予対部、研修部、広報部、組織部、調査部、青年会議及び事業部から各部における計画が報告され、異議なく承認されました。

第5号議案 2012年度予算

村山部長より埼玉県私保連の2012年度予算書の説明及び1000人大会へ向けた特定預金を取り崩しの説明が行われ、異議なく承認されました。

第6号議案 一般社団法人移行に関する件

公益社団法人への移行は規制や規約が厳しく当法人には不向きなため、一般社団法人化を検討する。今後、専門家を交えて定款を作成し、平成25年度から一般社団法人化するとの報告があり、いくつかの質疑応答の後、承認されました。

最後に閉会の辞をもって定期総会は滞りなく終了しました。



研修報告

「子どもの命を守る保育」を考える

—保育園の役割と「命」の大切さ—

日時：2012年5月15日

会場：埼玉会館7A

講師：猪熊 弘子氏（ジャーナリスト・東京都市大学客員准教授）



5月15日の埼玉県私立保育園連盟の定期総会後、研修会が行われました。当日は会場が満席状態になり、翌週に予定されている「子ども・子育て新システムを考える」1000人集会とのつながりもあり、大変興味深い研修会開催となりました。

講師の猪熊弘子氏は平成17年の夏、上尾市の公立保育所で起こった園児の保育中の死亡事故についてジャーナリストの立場から分析を行い「死を招いた保育」（ひとなる書房）を執筆し、多くの保育関係者に衝撃を与えました。講師自身のお子様たちも保育園育ちという立場から、職場環境、保護者との関係など、あらゆる側面から、この出来事を「事件」と言い切り、講演が始まりました。

保育所で子どもの命を守るために必要なものは、①保育士、子ども、保護者が互いにより関係を作れているか、②保育士が子どもの個性をしっかりと、しかもポジティブに把握しているか、③保育士が、子どもが遊びこめるような環境を設定しているか、④立場に関わらず保育士同士の連携は十分にできているか、⑤職員会議や研修を十分に行之、保育所内での問題の共有化がはかれているか、⑥保育士が子どもの動静をしっかりと把握できているか、⑦しっかりした保育計画ができているか、⑧普段から緊急時の対応は十分にできるようになっているか、の8つの事項となります。

そして、子どもの「命」を守る保育者・保育園のポイントは、①子どもを最後まで守り、最後まで預かる事を徹底、②子どもの命が失われること＝最大の失敗をいかに避けるか、③命を守ること＝子どもを大切に慈しんで育てること、④目の前の子どもに最善の保育を、⑤保育は大切な「文化」であり、子どもを育てることの価値、その意義を再確認する、という5点に絞られるということです。

今後、保育士の人材不足や政府の保育所の制度的な見直しなど、課題は山積みの中で、「子どもが好き」で保育士になった職員の多くが、命を預かる責任とより良い人間関係の中で、社会を担うこれからの子どもたちの保育することに責任と、喜びを感じながら社会全体で成長できるよう、園長、主任はどのような人材育成と職場環境を構築していくかという園内研修課題を始め、多くの提案をいただいた有意義な研修会でした。猪熊先生ありがとうございました。



施設訪問こんにちは

訪問先 (さいたま市)

ハーモニーえがお保育園

園長 島村よう子先生

さいたま市北区、宮原駅より車で五分ほどの一七号国道沿いにハーモニーえがお保育園はあります。この土地は、企業が所有し、空き地となっていたところを島村園長先生が根気強く交渉され保育園なら、とのこと借り受けることができたのだそうです。ご近所の方々と話し合いを重ね、島村先生の社会福祉にける情熱を理解していただき、良好な関係を築くことができたそうです。昨日も近所の方のご厚意でじゃがいも掘りをさせていただいたと伺いました。



周囲に目を向けると畑や竹林、屋敷林のある大きな家もあり自然豊かな住宅地、国道は車の通りが激しいものの園の周辺は落ち着いた雰囲気になっていました。社会福祉法人宮原ハーモニー、二つ目の保育園として、平成二十四年四月に誕生したばかりのハーモニーえがお保育園。自然の息吹を感じさせる木造一部二階建ての園舎、国道側は、乳児室前は芝生のスペース(県の芝生化事業)、保育室に面した庭の隅には、どろん子作りができるような専用スペースをつくる予定だそうです。敷地内には、市の緑化条例により、たくさん樹木が植えられています。土がむき出しになって木々の根元も有効活用、季節の草花やじゃがいも等の野菜が植えられ、遊びながら観察できるようになっていました。

春・夏・秋・冬 みんながキラキラできる家(うち)

玄関の手前には、日本の四季を感じることでできる小さな小さな箱庭があります。これは、地元のお花屋さん和相談し園長先生の拘りを形にしたものです。青楓・スキ・山百合等が風にそよいでいました。大きなガラスの引き戸を開けると玄関エントランス。正面にはウ

エルカムボードがあり、誕生児の写真が迎えてくれました。突きあたりは、支援室へ続く階段、左手は乳児エリア、右手は厨房と幼児エリアとなっています。幼児エリアの奥の壁にはクライミングウォールが設置され吹き抜けになっていました。全てが開放的なオープンスペースとなっており、そこは、家具や布、ソファや遊具で仕切られ、子どもたちが楽しく生活ができるように工夫されています。ワクワクドキドキできる空間、思わず走りたくなるこどもの気持ちに分りました。階段下は、「青の洞窟」と名付けられている秘密のエリアです。ここは、一人でいたい子は一人でも安心して過ごせる場所、隠れ家的な空間となっていました。迷路のような幼児エリアは、みんながキラキラできる家(うち)となっています。



三〜五歳は、異年齢児が交流できるコーナー保育です。お絵描きをしている子、リズムに合わせて踊りだす子、室内の土俵で相撲をする子、園庭で遊ぶ子、絵本を読んでいる子、それぞれに興味のあることに取り組んでいます。その様子を見守るように視線を送る保育士さんたち。こどもの主体性を重んじ、生きる力を育む保育を实践されている姿が印象的でした。「若い保育士・経験の少ない保育士が多いのですよ。自由気ままだけではなく、自由の中で規律を身につけられれば」と島村園長先生。

おしゃれなコックさん

園舎の中央部に位置する厨房キッチンの方(お似合い)は、遊びながら調理風景を覗けるように、大きく開口をとってありました。白衣に鮮やかな黄色の帽子・エプロン姿で作業にあたっている様子は、「とってもおしゃれなコックさん」見ていて楽しくなってきました。帽子とエプロン以外にも何色かあるのだそうです。厨房はランチルームと隣り合わせ、配膳も下膳も子どもたちができるようになっており、三〜五歳の子どもたちはランチルームの準備ができると思えば歯磨きをして、次の遊びを捜していくのです。食後に、「青の洞窟」を覗くと、ラッシュアワーの電車のようにぎゅうぎゅう詰めで、子どもたちは、ソファや床、階段など好きな場所に座り、好きな絵本を手に取り夢中です。



絵本の世界に入り込んでいました。ひとりでもきちんと食事のルーが分かるよう、食器の置き方がラミネートされたランチマットが用意されています。ちなみに、この日の献立は、ミートスパゲッティとサラダ、みんなのお顔にソイスのお髭が。満足そうな笑顔に幸せを感じました。

子育て支援センター「ままぼっぽ」

ハーモニー保育園で生まれ、駅前前のビル、ハーモニーえがお保育園二階へと三回目のお引越しをした子育て支援センター「ままぼっぽ」。

今日は、サークルの日、八組ほどの親子さんが支援室に集い、ママ同士はおしゃべりに興じ、子どもたちは勝手知ったるなんとやらで、あちこち自分の好きな遊びを見つけて、安全で温かな時間を過ごしていました。一隅には、おむつ交換台、授乳

の為のソファが置かれ、目隠しに衝立がありました。家庭的なママへの優しい配慮が感じられました。

「ままぼっぽカフェ」の名とおり、担当者が希望をとり、ママたちへの飲みものサービスを行っています。支援室の窓に「ままぼっぽカフェ」と表示があるので、これを見て、喫茶店やデイサービスと間違えて声を掛ける方がいたそうです。

日替わりで、フリー・びよびよサロン・サークル・ぼっぽひろば・びよこルームと設定されており、発達に合わせた関わりができるようなプログラムが組まれています。その他、栄養相談・身体測定・ベビーマッサージ・親子リトミック・お誕生会と盛り沢山な内容となっています。毎月一回、宮原公民館にて「すくすくサロン」を開催し、広く子育て中のママたちをサポートされています。

笑顔いっぱい・元気いっぱい 優しいっぱい溢れる 保育園

園舎の隣には、広い駐車場があり、自転車がきれいに並んでいます。支援センターを利用されるママたちのものと思いましたが、職員の方もほとんどが自転車で通って来られるのだと伺いました。地域の子どもを地域で守る、そんな言葉がふと浮かびました。聴覚障害を持った職員の方も強い味方。子どもたちの為に園内整備に奔走されています。

階段の踊り場には、大きな鏡が。これはね、笑顔チェックをする場所なの。」と島村園長先生。子どもたちも、保護者の方も、職



員もみんなが笑顔になれる空間を演出しているハーモニーえがお保育園。

「共生」地域・自然・社会・人間関係・そして、自分とのより良い関係を保育理念に掲げ社会貢献を目指し、日々、自己研鑽に努めてやまない島村園長先生をはじめとする職員の皆さんの気持ちが保育園全体に広がり、包み込むような優しさで溢れていました。園庭の幼い樹々たちが、根を張り、葉を繁らせ、子どもたちの成長を見守りながら、子どもたちと共に保育園の歴史を刻んでいくのでしょうか。

開園、間もない大切な時期にお時間を割いていただいたことに感謝し、貴園の益々のご発展をお祈り申し上げます。



☆☆ 編集後記 ☆☆

最近のTVドラマは医者にスポットをあてたものがヒットしています。(昨年の「JIN」や今年の「梅ちゃん先生」他にも多数)。命や人間がテーマですから見ごたえがあるものになるのでしょう。ところで、わたくし大の医者嫌いで、職場の定期健康診断も受けず、県の指導監査で施設長だけ記録がないと指摘されたことがあります。さすがに今はイヤイヤ受けていますのでご心配なく。(S・K)

6月の台風襲来は8年ぶりとか…

日本列島は、どうなってしまうのでしょうか?いろいろと心配事をあげれば、限がありませんね。毎日、こどもの笑顔に癒され、生きる活力をいただいている今日この頃です。ただ、ただ、こどもの笑顔が曇らぬ世の中になるよう願うばかりです。(T・M)

7年前から使っていたパソコンがとうとうパンクしました。ハードディスクのシステム部が9割以上、データ部も8割近く埋まっていた。仕方なく新規に購入したのが、プロセッサで5倍の速度、ハードで30倍の容量の機種で、ものすごく快適です。しかも旧機より3割安いです。技術開発の進歩に驚きました。(M・K)

事務局 埼玉県私立保育園連盟
〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F
TEL 048(772)8623 FAX 048(772)8635

1 えっ!カーテンもリースできるの?

5年間のメンテナンスリースならば年1回の定期クリーニングが付き清潔さを保持できます!

*リースは、もとより販売も特別提供価格で承っております!

2 カーテンのクリーニングだけを
お願いしたいのですが

ISO取得キングランカーテン専用工場でご使用のカーテンのクリーニングもお引き受け致します。クリーニング期間中は、代替えカーテンを用意致します。

*カーテンの取り外し~取付までスタッフが行います。

御見積無料!
キングラン商事株式会社
kingran shoji ☎03-3938-3585

保育園および園児を
さまざまなリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。
(社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
保育園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。



全私保連
保険制度

園児総合保障
共済制度

上記以外にも、「学童保育」や「園舎の火災保険」などの、
保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

